カン

奞

(日) 藿 ++(草)・pu (口)・隹(鳥)

草むらで、鳥がしきりに鳴く。

① しきりに

2 熱心に

注 音のカンは鳥の鳴き声を表わす。中国の文章には 鳥の鳴き声をカンカンと表現している。

カン **編**

② **熱心**に心をこめて**見**ること 例 観察・観光

観光のときはとりわけ熱心になるので

→ながめ 例 外観・壮観

カンケー

② 人のために熱心に努力する

→すすめる 例 勧誘・勧進

ケン

権① 枝葉がしきりに繁茂する木

- →勢いが強い 例 権勢・権力

カン

〈花鳥 △ カンカンと鳴く鳥

→こうのとり

カン

×灌 ① 水がしきりに音を立てて流れ込む

- → **そそぐ** 例 灌漑(田畑に水を注ぐ)
- →流し込む 例 灌腸(腸に水を流し込む)

注 雚はチョロチョロという音を表わす。

→よろこび 例 歓喜・歓声

参考 [よろこび]の同訓異字

歓 わあっと言って思わず叫ぶよろこび

喜 感情としてのよろこび(よろこびの総称)

愉 楽しいことをして得たよろこび

悦 心の中でいいなあと感ずるよろこび

恰 にこにこせずにいられないよろこび

欣 あははと声を出して笑うよろこび

問次のカンを漢字で書け。

一、 \square 察 二、 \square 誘 三、 \square 声 四、 \square 業 五、 \square 呼 六、 \square 光 七、 \square 告 八、壮 \square 九、 \square 心 十、 \square 測

图 一、観 二、勧 三、歓 四、勧 五、歓 六、観 七、勧 八、観 九、歓 十、観